

活 力 づ くり

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
施策の将来の目標像	大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	4 大学との連携事業数	129 件	145 件

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実	主管部局・所属	総務部 政策推進監
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学の知を社会につなぐイノベーション・エコシステムの構築	現状	大学と市が一体となったまちづくり推進体制の強化が必要	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
大学の特色を活かした地域社会課題解決に向けた取組みの具体化が明確になっていない	イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ(拠点)づくり		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) Town&Gownの取組を通じたプロジェクト、共同研究の数	7 ( R2 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	9	10	10	11 ( R6 )	件
(1) COMMONプロジェクトの件数	30 ( R3 )		30	33	36	39 ( R6 )	件
(4)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度			37,500			
			17,673			
R 4 年度			144,040			
			16,563			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・7 Town&Gown推進事業	政策推進監	1.60	37,500	144,040
合計			1.60	37,500	144,040

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出	① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実

事業の概要			
戦略	1 イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ（拠点）づくり	予算 144,040 千円	前年度 37,500 千円
事務事業	1-1 Town&Gown 推進事業	予算 144,040 千円	前年度 37,500 千円

内容

1-1\_Town&Gown の推進による新たなまちづくり

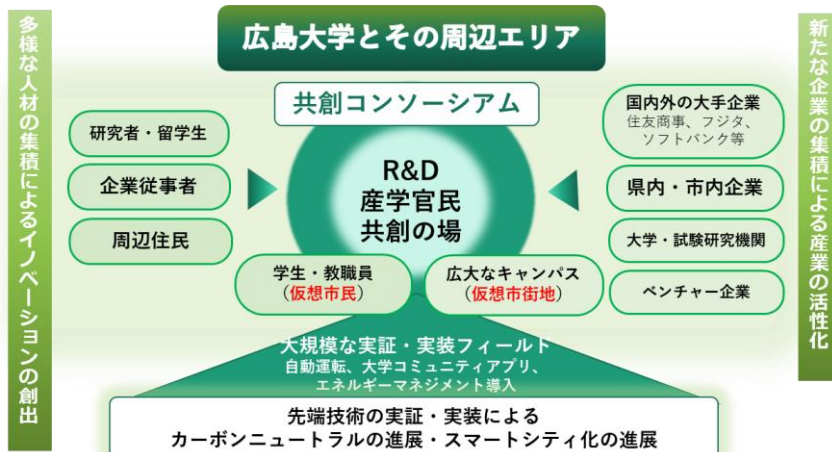
大学と市が共同で地域社会における課題の解決に取り組むため、広島大学内に Town &Gown Office を設置し、大学との研究推進体制・機能の充実強化を行うほか、新たなイノベーションや、世界から起業家や研究者たちが集まる持続可能なまちづくりに資する事業を展開する。

※Town&Gown・・・東広島市の行政資源と広島大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで地方創生を実現し、持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指すもの



Town &Gown Office ロゴ

- ① 次世代学園都市構想に基づく事業展開 (16,540 千円 (前年度 15,345 千円))
- 「次世代学園都市構想」(令和3年度策定)に基づき、広島県と連携し、「ゆとりと魅力ある居住環境の創出」に向けたハード面を中心としたエリアデザイン(エリア決定、まちづくり計画等)を策定する。デザインには、(仮称)広島大学スマートシティ共創コンソーシアムで生まれた各種アイデアを取り入れて、目指すべき将来ビジョンの実現を目指す。



(仮称) 広島大学スマートシティ共創コンソーシアムの形成イメージ

## 事業の概要

### ② 次世代学園都市構想の実現に向けた基盤構築

(100,000 千円 (前年度 0 千円))

令和3年7月9日付けで内閣府から認定を受けた地域再生計画（東広島市まち・ひと・しごと創生推進計画）を推進するため、企業版ふるさと納税を活用して、広島大学と共に、令和3年度から6年度までの認定期間中に、次世代学園都市構想を実現するための基盤構築に繋げる。

### ③ Town&Gown Office の運営及び活動プロジェクトへの支援

(9,500 千円(前年度 12,000 千円))

国際的研究拠点東広島の形成に向けた取組み及び大学と一体となったまちづくりマネジメントを推進するため、広島大学と共同で Town&Gown Office の運営及び地域社会の課題解決に向けた活動への支援を行う。

#### 【Town&Gown Office の主な取組み】

項目	概要
COMMON プロジェクト (共同業務の日常業務化)	市の社会課題と大学の研究テーマをマッチングさせ、日常的に協議する場を設けることで地域社会の課題解決に取り組む。
新たなまちづくり(次世代学園都市構想)	産学官民連携によるスマートシティ化、ゆとりある居住空間、企業との共同研究拠点の形成等を目指す。
カーボンニュートラル	太陽光発電、地中熱など再生可能エネルギーを徹底活用するとともに、周辺地域を巻き込みながら、「行動変容」を促進する仕組みも取り入れることで「再エネ型経済社会」に貢献する。
スマートキャンパス5.0	次世代通信技術(5G 及びローカル 5G) を基盤として、大学キャンパス及び周辺地域における Society5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会)の実現を目指す。

### 【拡】④ 大学連携政策課題等共同研究 (18,000 千円 (前年度 15,000 千円))

#### ア 共同研究の実施

市内大学の知的・人的資源を活用し、行政課題の解決や重点施策の推進に向けた共同研究を行う。

#### 【活動指標】

共同研究採択件数 年 10 件程度 (課題解決 5 件、初期 5 件)

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
施策の将来の目標像	大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	4 大学との連携事業数	129 件	145 件

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 大学との連携によるまちづくりの推進	主管部局・所属	総務部 政策推進監
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学との有機的な連携の促進	現状	まちづくりにおける大学との一層の連携が必要	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	大学の強みを活かした連携が不十分	大学の特色を活かしたまちづくり	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 4大学との連携事業数	129 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	136	139	142	145 ( R6 )	件
(イ)	( )					( )	
(ウ)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度	年度		5,620			
	3年度		2,658			
R4年度	年度		10,368			
	4年度		5,958			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・7 大学連携推進事業	政策推進監	0.40	5,620	10,368
合計			0.40	5,620	10,368

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出	② 大学との連携によるまちづくりの推進

事業の概要					
戦略	1	大学の特色を活かしたまちづくり	予算	10,368千円	前年度 5,620千円
事務事業	1-1	大学連携推進事業	予算	10,368千円	前年度 5,620千円

### 内容

#### 1-1\_大学との連携事業の推進

大学との連携による魅力あるまちづくりを進めるため、市内4大学の代表者とのトップミーティングを行うとともに、大学の特色づくりや魅力づくりを支援するなど、より強力な戦略的パートナーシップを構築しながら大学との連携事業を推進する。

#### ① 大学との連携体制の構築（10,368千円（前年度1,450千円））

##### 【新】ア 市内大学へのTown&Gownの展開の検討（うち7,500千円）

大学の特色に応じた連携体制を構築するため、市と大学が一体となったまちづくりを行うTown&Gownの市内大学への展開について、大学と調査検討し、ともに地域社会の課題解決や地域住民が大学の知見を体験できる機会の創出を目指す。

##### 【拡】イ エリザベト音楽大学との連携（うち2,100千円）

エリザベト音楽大学と大学の特色に応じた連携体制を構築し、大学を活かしたまちづくりを推進するため、エリザベト音楽大学が実施するコンサート等に係る費用を補助する。（補助率：10/10以内）

##### (ア) エリザベト音楽大学親子コンサート（年1回）

内容：0歳児から親子で一緒に楽しめる参加型コンサート

場所：東広島芸術文化ホールくらら

##### (イ) 東広島市立美術館との連携によるコンサート（年2回程度）

内容：美術館コンサート（ロビーコンサート等）

場所：東広島市立美術館



エリザベト音楽大学親子コンサート



## 事業の概要

### (ウ) 市内中学校の音楽関連部活動への支援

内容：大学の専門技術を活かして中学校の音楽関連部活動への技術指導、交流活動を行う。(年1回程度)

場所：市内中学校

#### 【活動指標】

コンサート及び部活動支援4件

### ウ 大学との連携の推進

大学と市との組織的な連携の支援や連携事業の推進に関する内部調整及び事業整理を行うなど、大学との連携に資する取組みを行う。

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活かづくり	施策	2 多様な豊かな市民の力が輝くまちづくり
施策の将来の目標像	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかの関わりを持ちながら本市の活かづくりに寄与しています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値 ( R 6 年度 )
	市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24件(H30年度)	30 件
	人口の社会増加数	364人/年 (H22~30年度の平均)	400人/年

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 多様な人材力が発揮できる環境の充実	主管部局・所属	総務部 政策推進監
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	学生の地域活動の促進	現状	学生をはじめとした人材の力が発揮できる環境が整っていない	
課題	学生が地域を知る機会が少ない 学生と地域との交流・連携が少ない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		学生と地域との交流連携の促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	27	28	29	30 ( R6 )	件
(4)	( )					( )	
(7)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度		13,875				
		13,875				
R4年度		18,100				
		18,100				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・7 学生の地域交流連携促進事業	政策推進監	0.35	13,875	18,100
合計			0.35	13,875	18,100

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額	分析		

8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率	分析		


9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		

10 総合評価			
総合評価	<総評>		

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	2 多様な市民の力が輝くまちづくり	① 多様な人材力が発揮できる環境の充実

事業の概要				
戦略	1 学生と地域との交流連携の促進	予算	18,100 千円	前年度 13,875 千円
事務事業	1-1 学生の地域交流連携促進事業	予算	18,100 千円	前年度 13,875 千円
内容				
1-1_学生と地域との交流・連携の促進				
① 広島県留生活活躍支援センターの運営費負担 (1,500 千円 (前年度 1,500 千円))				
留学生の受入促進や生活・就職支援を一元的に行う広島県留生活活躍支援センターの活動を通じて、留学生の受入促進及び生活・就職を支援する。				
※会員：大学、短期大学及び高等専門学校、日本語専門学校、 行政機関、経済団体及び国際交流団体				
市内留学生の推移 (単位:人)				
H29	H30	R1	R2	R3
1,253	1,494	1,680	1,766	1,374
※住民基本台帳在留資格が「留学」であるもの(各年3月末の人数)				
				
				就職活動実践セミナー (東広島会場)
② 学園都市づくり交流会議の運営 (16,600 千円 (前年度 12,375 千円))				
大学と地域との交流を通じて、相互理解と親睦を深め、大学の地域への定着を促進し、文化の薫り高い学園都市づくりに寄与するため、大学、市、関係機関で組織する学園都市づくり交流会議を運営する。				
※構成団体 広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市、 東広島商工連絡協議会、広島中央農業協同組合、 一般社団法人東広島青年会議所、東広島市スポーツ協会、 東広島市文化連盟、公益財団法人東広島市教育文化振興事業団				
学生数の推移(市調べ) (単位:千人)				
H29	H30	R1	R2	R3
16.7	16.8	16.7	17.0	17.3
※広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学の市内キャンパスにおける学生数				
ア 学生の地域活動の促進				
大学・学生と地域との交流・連携を促進し、学生の成長や地域への愛着を促進するため、地域での学生の様々な活動や体験が可能となる機会の創出を図るとともに、地域で主体的に活動するための支援を行う。				

(7) 地域体験ツアーの実施

学生が地域や地域活動に興味や関心を持つきっかけとなる地域体験ツアーを開催する。

(年7回程度)



地域体験ツアー（安芸津町）



地域体験ツアー（八本松町）

(イ) ひがしひろしま学生×地域塾の開催

学生と地域との交流・連携を促進し、地域での活動企画・実践を通して学生の成長を促すとともに、こうした活動をまちの活力につなげていくため、学生が自ら企画し、地域で活動を実践するためのノウハウを学ぶ塾を開催する。

ひがしひろしま学生×地域塾スケジュール

対象	市内大学に在学する学生
要件	東広島市の地域活性化に関心があり、地域活動について企画立案等の実践意欲があること
定員	10組程度(前期後期各5組程度)
実施内容(予定)	4月・8月 入塾説明会、参加団体等の募集
	5月・9月 企画検討ワークショップ(合宿)
	6月～1月 地域課題の調査、企画の検討、ブラッシュアップ
	企画の実践
	1月頃 活動報告会
	2月末頃 卒塾式



活動報告会

(ウ) 学生ローカルパートナー制度

地域をフィールドにして学生と地域との連携による活動を行う学生団体を「学生ローカルパートナー」として認定し、伴走的な支援を行う。

学生同士の意見交換や企画・プロジェクトの検討から実施までを行う過程を通して、他大学や他団体の学生等によるネットワーク構築及び交流促進を行うとともに、学生同士が連携した新たな活動や地域課題の解決にチャレンジできる場を創出する。



学生同士の交流・意見交換

## 事業の概要

### (I) 学生と地域とのコーディネート機能の充実

学生と地域との連携促進を図るため、地域ニーズなどの情報収集・情報発信を行うとともに、地域課題と学生の地域活動のマッチング等を行う。

また、西条酒蔵通りに整備予定の学生拠点施設における定期的な企画実施、スポーツや文化活動などを通じた学生と地域のつながり推進及び広島大学マスターズと連携して国際交流拠点施設で行うまちづくりや地域課題をテーマとした学生（留学生）の発表・交流会の開催などを行う。



コーディネータによる相談対応

### イ 学生の主体的な活動への支援

学生の主体的な地域活動を促進するため、本市をフィールドとした学生の活動を支援する。

補助率：10/10 以内（上限額：50 千円）

### ウ 学生の拠点づくり（スマート町家プロジェクト）

西条酒蔵通りの町家における学生のDIY活動等の定期的な企画やアントレプレナー教育の研究活動等を通じて、学生の活動拠点形成や学生の活動を中心とした賑わいの創出を図る。



町家の外観（改修前）



学生参加による改修作業

エ 大学と地域との融合促進

(7) 地域と大学との交流を促進する活動への支援

本市の学園都市づくりへの市民参画を促すため、大学等が主催する地域と大学の一体感の醸成が期待されるイベントを支援する。

また、大学や学生が開催するイベント等に関する広報支援を行う。

(1) 学生に向けた情報提供の充実

学生の地域活動支援等や暮らしに関する情報提供を行う。

新入生に対し、本市の魅力を伝えるための情報誌の配布を行う。

**【活動指標】**

コーディネートした学生の地域活動件数 28 件

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活カづくり	施 策	2 多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり
施策の将来の目標像	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかの関わりを持ちながら本市の活カづくりに寄与しています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値 ( R 6 年度 )
	市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24件(H30年度)	30 件
	人口の社会増加数	364人/年 (H22~30年度の平均)	400人/年

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属	建設部	建設管理課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら本市の活カづくりに寄与する。	現状	特に周辺地域において高齢化・人口減少が進み、活力が失われつつある。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
移住検討者に対し地域の魅力を効果的に発信し、多様化するニーズに応じた相談体制を構築すること		周辺地域への移住・定住の促進		高	1
海岸地域の魅力の発信を効果的に行い、賑わいや消費、交流の起点となる場所を整備すること。		海を活かしたにぎわい創出機能の形成		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 定住サポートセンターへの移住相談件数	31 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	50	52	54	56 ( R6 )	件
(1) 定住サポートセンター相談者の移住世帯数	8 ( H30 )		25	26	27	28 ( R6 )	世帯
(7)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R 3 年度		25,345			
			22,045			
	R 4 年度		18,898			
			14,698			





## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	2 多様な市民の力が輝くまちづくり	② 移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出

事業の概要				
戦略	1 周辺地域への移住・定住の促進	予算	16,044 千円	前年度 15,121 千円
事務事業	1-1 移住促進広報事業	予算	4,269 千円	前年度 4,315 千円

### 内容

#### 1-1\_移住・定住の促進に向けた情報発信

##### ① 移住促進特設ウェブサイトによる移住関連情報の発信

(3,891 千円 (前年度 3,876 千円))

移住促進特設ウェブサイトを運営し、ウェブ広告配信等を活用し本市の魅力を発信する。





#### 移住促進特設ウェブサイトのトップページ

##### ② 広島県交流・定住促進協議会等と連携した定住フェア等による移住関連情報の発信 (378 千円 (前年度 295 千円))

広島県、広島県交流・定住促進協議会、広島広域都市圏と連携し、東京における定住フェア・セミナーにおいて移住検討者に対し本市の魅力を発信する。



定住フェアの様子

事業の概要				
戦略	1	周辺地域への移住・定住の促進	予算 16,044 千円	前年度 15,121 千円
事務事業	1-2	移住者等支援事業	予算 11,775 千円	前年度 10,806 千円
内容				
1-2_移住・定住の促進に向けた支援				
① 定住サポートセンターによる総合相談窓口の運営 (175 千円 (前年度 175 千円))				
移住検討者が求める住まい、しごと、子育てなどの情報提供や相談をワンストップで受け付け、関係部局と連携し相談内容の解決を図る。				
② 移住者等に対する各種補助金の交付 (11,600 千円 (前年度 10,400 千円))				
ア 移住支援金の交付 (うち 5,600 千円)				
地方創生移住支援金制度を活用し、東京圏から市内に移住し、かつ市内へ就業に至った者に対し支援金を交付する。				
【支援金 (定額) : 単身世帯 60 万円、2 人以上世帯 100 万円】				
【活動指標】				
単身世帯 1 件、2 人以上世帯 5 件				
イ 移住者等創業支援事業補助金の交付 (うち 6,000 千円)				
周辺地域 (志和町、福富町、豊栄町、河内町及び安芸津町の区域) における産業の活性化及び定住の促進を図るため、移住者又は移住予定者 (市内の周辺地域外からの転居者も含む) が、市内周辺地域において新たに創業する場合に、店舗、事務所等の改修費、設備費、備品購入費の一部を補助する。				
【補助率 : 1/2、補助限度額 : 200 万円】				
【活動指標】				
3 件				
				
		補助金を活用し創業した移住者 (美容院経営)		
				
		補助金を活用し創業した移住者 (カフェ経営)		

事業の概要				
戦略	2	海を活かしたにぎわい創出機能の形成	予算 2,854 千円	前年度 10,224 千円
事務事業	2-1	港湾沿岸地域再編事業	予算 2,854 千円	前年度 10,224 千円
内容				
2-1_港湾周辺施設の整備				
<p>① 小型船舶用泊地等測量図面・指定調書作成業務  (2,854 千円 (前年度 10,224 千円))</p> <p>港湾沿岸地域の放置艇対策を進めていくため、小型船舶用泊地の測量図面・指定調書等を作成する。</p>				



令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	3 都市成長基盤の強化・充実
施策の将来の目標像	東広島市の中心地は、市の玄関口として市内外から人びとが集い、憩い、多様な活動が繰り広げられるエリアとなっています。また、各地域では良好な景観が形成され、市民の郷土への誇りや愛着が育まれています。さらに、企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	新たに確保した産業用地の面積 ( 計画期間累計 )	0 ha	10 ha

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① にぎわいと魅力ある都市空間の形成	主管部局・所属	都市部 都市計画課
関係部局・所属	総務部	政策推進監	産業部 産業振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	交通結節点となる西条駅や、特徴的な景観を有する酒蔵地区、プールパール通り沿いに立地する多様な施設を活かし、魅力ある中心市街地の形成を図る。	現状	中心市街地の人通りが少なく、賑わいや活気がない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
散策したくなる・歩いて楽しめるコンテンツの不足	中心市街地の賑わい創出		中	1
交流・イベント・スポーツ・文化活動等、多様な用途に活用できる自由度の高い場所が少ない	中心市街地の公有地デザイン		中	2

4 成果指標

成果指標		初期値 ( 年度 )	目標値及び実績値			終期目標値 ( 年度 ) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7)	酒蔵地区の観光客数 ( 西条酒蔵通り観光案内所の来訪者数 )	34,412 ( H28 )	40,300	41,500	42,200	42,200 ( R5 )	人
(4)		( )				( )	
(7)		( )				( )	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 ( 千円 )	R 年 度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
		3	年度	83,778	64,878	
4	年度	54,736	27,736			



## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	3 都市成長基盤の強化・充実	① にぎわいと魅力ある都市空間の形成

事業の概要				
戦略	1 中心市街地の賑わい創出	予算	42,488 千円	前年度 74,388 千円
事務事業	1-1 景観形成事業	予算	42,488 千円	前年度 74,388 千円

### 内容

#### 1-1\_景観を活かしたまちづくりの推進

##### ① 西条本通線の美装化（37,600 千円（前年度 49,500 千円））

酒蔵地区の街並みと調和した景観保全のため、西条本通線の美装化を進める。



##### ② 酒蔵地区の景観形成（4,014 千円（前年度 4,014 千円））

酒蔵地区における登録文化財や歴史的建造物などについて、景観形成事業補助金により支援を行う。

##### ③ 白市地区の景観形成（874 千円（前年度 874 千円））

歴史的な街並みが残る白市地区の交流拠点である白市交流会館を管理運営することなどにより、地域の賑わい創出と地域の活力向上を図る。



事業の概要					
戦略	2	中心市街地の公有地デザイン	予算	12,248 千円	前年度 9,390 千円
事務事業	2-1	プロジェクト推進事業	予算	12,248 千円	前年度 9,390 千円

内容

2-1\_プロジェクトの推進

- ① 中央生涯学習センター跡地及び跡地周辺公有地の活用に係る基本計画の策定（11,715 千円（前年度 9,390 千円））

跡地は「アート・カルチャー・スポーツ・マルシェなど市民の暮らしを豊かにする多様なコンテンツを実施できる自由度の高い空間」、市役所本庁舎北側の敷地等の跡地周辺公有地は「平成 29 年度に整理したまちづくり活動や子育て・福祉といった既存ニーズだけでなく、新たなニーズにも対応できるよう機能の集約化を検討」という基本的な方針のもと、中心市街地の公有地である跡地及び跡地周辺公有地の活用に向けた基本計画を策定する。

<実施スケジュール>

対象地	R4	R5	R6	R7	R8
跡地	基本計画	基本設計・詳細設計・工事等			
周辺公有地					



令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活気づくり	施策	3 都市成長基盤の強化・充実
施策の将来の目標像	東広島市の中心地は、市の玄関口として市内外から人びとが集い、憩い、多様な活動が繰り広げられるエリアとなっています。また、各地域では良好な景観が形成され、市民の郷土への誇りや愛着が育まれています。さらに、企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	新たに確保した産業用地の面積 (計画期間累計)	0 ha	10 ha

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 新たな産業基盤の整備	主管部局・所属	産業部 産業振興課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	研究開発と生産活動が展開できる産業用地の確保	現状	企業の用地確保ニーズがある	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	企業が立地できる新たな用地が不足している	新たな産業基盤の整備	中	1

4 成果指標

成果指標		初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7)	着工予定の産業用地の面積(計画期間累計)	0 (R1)	4	6	8	累計10 (R6)	ha
(4)	新たに確保した産業用地の面積(計画期間累計)	0 (R1)	0	0	0	累計10 (R6)	ha
(5)		( )				( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R3年度		118,500			
			66,500			
	R4年度		111,956			
			59,956			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	7・1・3 産業用地環境整備事業	産業振興課	2.00	118,500	111,956
合計			2.00	118,500	111,956

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	3 都市成長基盤の強化・充実	② 新たな産業基盤の整備

事業の概要					
戦略	1	新たな産業基盤の整備	予算	111,956 千円	前年度 118,500 千円
事務事業	1-1	産業用地環境整備事業	予算	111,956 千円	前年度 118,500 千円

内容

1-1\_産業用地確保の取組み

① 産業基盤の整備に向けた検討（11,956 千円（前年度 18,500 千円））

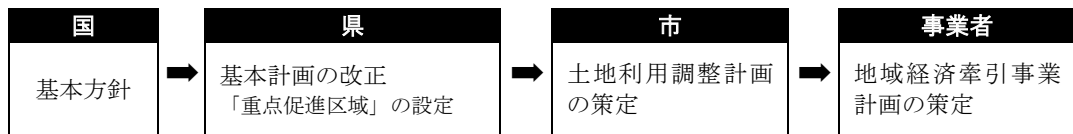
産業用地基本計画に基づき、大学や志和 IC 周辺などにおける産業基盤の整備に向けた事業スキームの検討を行う。地域未来投資促進法<sup>\*</sup>を活用し、県、市と事業者の連携により地域発展の基盤整備に取り組む。

令和3年度	令和4年度	令和5年度以降
・企業立地意向調査	・地域未来投資促進法を活用した事業スキームの検討 ・概略設計	・土地利用調整計画の策定 ・地域経済牽引事業計画の策定

<sup>\*</sup>地域未来投資促進法（地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律）

地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対して経済的効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業を支援するもの。

【各主体の役割】



② 産業用地開発助成金（100,000 千円（前年度 100,000 千円））

民間遊休地を活用して新たに設備投資を行う企業に対して支援する。

○制度の概要

対象用地：5,000 m<sup>2</sup>以上の民間遊休地

対象者：対象用地に、自社で事業を行うための工場等を建設する者

助成額：開発可能性等の調査費用や建物等撤去費用、インフラの整備、敷地内進入路の整備、土地の造成等に係る費用×25%

（上限 5,000 万円）（2 件想定）



令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活気づくり	施策	4 交通ネットワークの強化
施策の将来の目標像	鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	国県道整備率	15%	39%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 公共交通ネットワークの強化・充実	主管部局・所属	地域振興部 地域政策課
関係部局・所属	河内支所	地域振興課	安芸津支所 地域振興課
	都市部	都市整備課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	広域移動を見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続	現状	高い自動車分担率が続き、公共交通利用が低迷、交通事業収益が悪化	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
都市の拠点性・経済循環を支える交通機能の不足 乗りこくさ(運賃、路線本数)、交通事業者の収益性の悪化		公共交通機能の強靱化による利便性の向上	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 1日当たりJR乗車人員	23,617 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	25,464	25,508	25,551	25,600 ( R6 )	人
(4)	( )					( )	
(5)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度		925,199				
		245,688				
R 4 年度		1,011,253				
		285,723				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・7 公共交通網形成事業	地域政策課	3.00	649,255	367,205
1-2	2・1・7 公共交通網形成事業(河内支所)	河内支所地域振興課	0.30	11,820	14,196
1-3	2・1・7 公共交通網形成事業(安芸津支所)	安芸津支所地域振興課	2.10	6,509	6,817
1-4	8・5・2 交通結節点改善事業	都市整備課	2.00	257,615	623,035
合計			7.40	925,199	1,011,253

7 R4事業費の分析(差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」)		
差額	分析	
8 R4成果指標の分析(成果指標の平均達成率)		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	4 交通ネットワークの強化	① 公共交通ネットワークの強化・充実

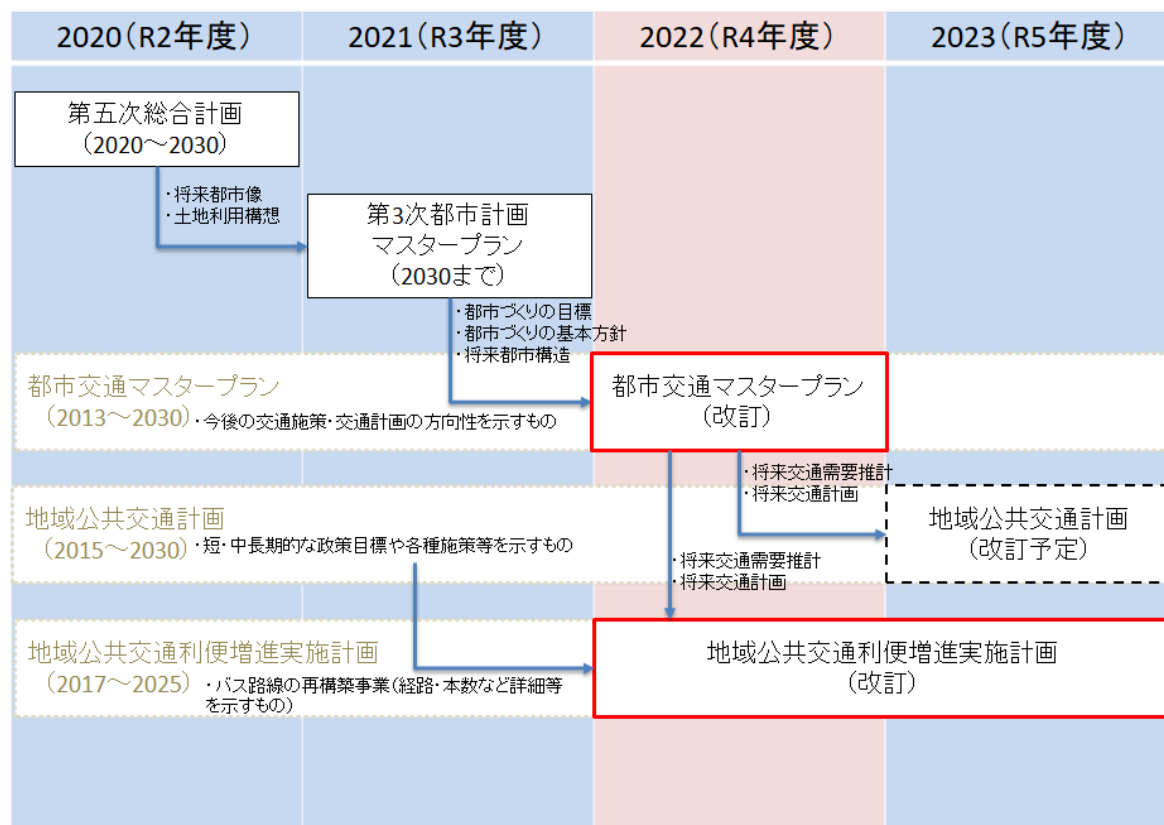
事業の概要			
戦略	1 公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算 1,011,253 千円	前年度 925,199 千円
事務事業	1-1 公共交通網形成事業	予算 367,205 千円	前年度 649,255 千円
内容			
1-1_公共交通網の形成			
① 交通結節機能の強化と空港対策（124,711 千円（前年度 421,843 千円））			
ア バス交通結節点の整備			
利便性と路線再編による運行効率の向上を図るため、バス交通結節点の整備を行う。			
(ア) 下見・鏡山地区交通結節点（うち 114,646 千円）			
建築工事、施設管理			
(イ) 黒瀬地区交通結節点（うち 4,295 千円）			
建築設計			
イ 空港対策（広島空港整備事業負担金）（うち 4,074 千円）			
県、隣接自治体と連携を図り、広島空港の滑走路整備等の空港機能の維持及び改善に係る整備費を負担する。			
ウ 海路対策（うち 1,696 千円）			
安芸津港～大西港（大崎上島町）運航に係る支援を行う。			
② 鉄道輸送の強化（14,016 千円（前年度 13,554 千円））			
ア 寺家駅の維持管理（うち 13,841 千円）			
駅の待合環境と快適性の向上を図るため、適正な管理を行う。			
③ バス交通の維持・強化（220,478 千円（前年度 213,858 千円））			
ア 市内路線バス運行経費に対する支援（うち 211,878 千円）			
本市の移動の骨格である幹線交通を支えるため、路線バス交通事業の維持・強化を図る。			
【拡】イ 東広島市地域公共交通利便増進実施計画の改訂（8,600 千円）			
持続可能なバス交通網の構築に向けて、東広島市地域公共交通利便増進実施計画の改訂を行う。			



事業の概要

【拠】④ 東広島市都市交通マスタープランの改訂（8,000 千円）

第五次東広島市総合計画及び第3次東広島市都市計画マスタープランの策定、並びに公共交通を取り巻く環境変化に即して、東広島市都市交通マスタープランの改訂（マイナーチェンジ）を行う。



事業の概要				
戦略	1	公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算 1,011,253 千円	前年度 925,199 千円
事務事業	1-2	公共交通網形成事業（河内支所）	予算 14,196 千円	前年度 11,820 千円
内容				
1-2_公共交通網の形成（河内支所）				
① 広島空港周辺対策（14,196 千円（前年度 11,820 千円））				
ア 広島空港周辺整備				
<p>空港周辺環境の配慮を講じるため、県と連携を図り、周辺地域の住宅への空調対策、道路等安全対策・周辺環境保全、公共施設を活用した地域振興策を進める。</p>				

事業の概要				
戦略	1	公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算 1,011,253 千円	前年度 925,199 千円
事務事業	1-3	公共交通網形成事業（安芸津支所）	予算 6,817 千円	前年度 6,509 千円
内容				
1-3_公共交通網の形成（安芸津支所）				
① 安芸津駅の維持管理（6,817 千円（前年度 6,509 千円））				
<p>駅の待合環境と快適性の向上を図るため、適正な管理を行う。</p>				

事業の概要					
戦略	1	公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算	1,011,253 千円	前年度 925,199 千円
事務事業	1-4	交通結節点改善事業	予算	623,035 千円	前年度 257,615 千円

内容

1-4\_駅周辺の交通結節点の改善

住民や近隣教育機関の学生・生徒が多く利用する西高屋駅舎の橋上化に合わせ、公衆トイレや情報ラウンジ等の整備を行い西高屋駅周辺の賑わいや活力の創造を図る。

① 西高屋駅の機能強化のための南北自由通路や駅前広場の整備

(623,035千円(前年度257,615千円))

南北自由通路や駅前広場の整備等により、駅へのアクセス性向上及びバリアフリー化を図るとともに、交通結節点機能の改善を行う。

[令和4年度の主な内容]

用地補償、南北自由通路及び駅舎整備 (JR 工事委託)

	R4	R5	R6
・西高屋駅南北自由通路 延長 110m、幅員 4m	用地補償	用地補償	用地補償
・西高屋北口駅前広場(面積約 4,100 m <sup>2</sup> )	工事	工事	工事
・西高屋駅橋上化及び公衆トイレ・情報ラウンジ等	JR委託	JR委託	JR委託

完成イメージ (北口広場側)



令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活気づくり	施策	4 交通ネットワークの強化
施策の将来の目標像	鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	国県道整備率	15%	39%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備	主管部局・所属	都市部	都市計画課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の慢性的な交通渋滞の解消を図り、産業活動や広域連携の強化につながる幹線道路交通網を形成する。	現状	市中心部の拠点性の高まりにより、交通量が増加し、慢性的渋滞が発生しており、広域利便性を生かした産業活動や広域連携に支障が出ている。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
高規格幹線道路網及び幹線道路網の整備が遅れている。	国・県幹線道路整備の取組み		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 国県道路整備率	15 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	15	15	15	39 ( R6 )	%
(4)	( )					( )	%
(4)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 3 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R 3 年度	58,769				
	R 3 年度	30,169				
	R 4 年度	55,220				
	R 4 年度	26,920				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	8・5・1 国・県幹線道路整備事業	都市計画課	2.00	58,769	55,220
合計			2.00	58,769	55,220

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額	分析		

8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率	分析		

9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		

10 総合評価			
総合評価	<総評>		

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	4 交通ネットワークの強化	② 高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備

事業の概要				
戦略	1	国・県幹線道路整備の取組み	予算 55,220 千円	前年度 58,769 千円
事務事業	1-1	国・県幹線道路整備事業	予算 55,220 千円	前年度 58,769 千円

### 内容

#### 1-1\_国・県幹線道路整備の促進

慢性的な交通渋滞を解消し、産業活動や広域連携の強化を図るため、広域的な道路ネットワークとなる幹線道路の整備促進を図る。

##### ① 幹線道路整備の推進（753 千円（前年度 769 千円））

幹線道路の整備を推進する道路の期成同盟会の活動費を負担する。

##### ② 広島県が整備する幹線道路事業の促進（54,467 千円（前年度 58,000 千円））

広島県が市内で整備する国県道に係る整備費の一部を、県条例の規定により負担する。

都市計画道路 上寺家下見線ほか 1 路線

#### ○主な整備箇所

都市計画道路 上寺家下見線西条西交差点の渋滞を緩和し、国道等の広域ネットワークへのアクセスを改善する。



整備例



令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活カづくり	施策	5 環境に配慮した社会システムの構築
施策の将来の目標像	地球規模の環境問題等に対応できる次世代環境都市の構築が進展し、環境と調和した潤いのある地域が形成されています。また、構築の過程で生み出されたシステムや成果が、市民の暮らしづくりに効果的に活用されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	市内の温室効果ガス総排出量	2,257.5千t-CO2	1,877.7千t-CO2

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 環境に配慮した社会システムの構築	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属	財務部 管財課	産業部	農林水産課
	生活環境部 廃棄物対策課	消防局	消防総務課
	こども未来部 保育課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	次世代型の環境都市の構築	現状	地球温暖化対策等に対する取組みが求められている。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
気候変動の影響緩和と適応	脱炭素化の推進とレジリエンス強化		中	1
将来像の共有と取組みをサポートするシステムづくり	S-TOWNプロジェクトの推進		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 温室効果ガス排出量	2,257.5 ( H25 ) マイナス指標設定		1,981.3	1,946.8	1,912.3	1,877.7 ( R6 )	千t-CO2
(4) COOL CHOICE賛同者数	1,683 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	3,900	4,500	5,100	5,700 ( R6 )	人
(7) 再生可能エネルギー導入容量	22.1 ( R1 )		23.4	24.0	24.6	25.3 ( R6 )	万kW

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度	R年度		44,231			
	3年度		38,833			
R4年度	R年度		68,411			
	4年度		50,496			





概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活カづくり	5 環境に配慮した社会システムの構築	① 環境に配慮した社会システムの構築

事業の概要			
戦略	1 脱炭素化の推進とレジリエンス強化	予算 61,680 千円	前年度 32,409 千円
事務事業	1-1 庁舎等脱炭素推進事業	予算 4,835 千円	前年度 0 千円
内容			
1-1_庁舎等の脱炭素化の推進とレジリエンス強化			
① 庁舎等の脱炭素化の推進 (4,835 千円 (前年度 0 千円))			
市域の温室効果ガス排出量の削減に向け、市が先行的に取組みを実施し、その効果を市域全体へ広げ、持続可能な環境都市の実現を目指す。			
【新】ア 福富支所を中心とした脱炭素先行地域の形成			
・ E S C O 事業による省エネルギー化と災害時のレジリエンス強化			
○福富支所庁舎 (福富保健福祉センターを含む。)			
空調設備、非常用発電設備、太陽光発電設備、蓄電池、照明の L E D 化 総事業費 290,070 千円			
・ エネルギーの面的融通の検討 (福富支所周辺の公共施設を対象)			
イ その他の脱炭素化への取組み			
(ア) 照明の L E D 化			
・ 事業効果が見込める市有 5 施設 (本庁舎、高屋出張所、板城西保育所、河内西保育所、消防局庁舎) の照明の L E D 化を実施			
(イ) 公用車のハイブリッド車、燃料電池自動車への更新・切替			
・ 17 台をハイブリッド車に切り替え、燃料電池自動車 (トヨタ M I R A I) を 1 台導入する。			



## 事業の概要

### ⑤ EV 充電設備の導入支援 (1,500 千円 (前年度 2,500 千円))

EV、PHEV等の普及促進のため、市内商業施設等へのEV充電設備（普通充電器・急速充電器）の設置支援を行う。

#### 【活動指標】

支援内容	支援件数見込
急速充電器設置	500,000 円×2 件
普通充電器設置	100,000 円×5 件

### ⑥ 地域のレジリエンス強化 (スマートハウス化支援)

(15,600 千円 (前年度 15,600 千円))

市民を対象に、省エネ・創エネの推進や災害時のレジリエンス強化を目的に蓄電池等の導入支援を行う。

#### 【活動指標】

支援内容	支援件数見込
定置用リチウムイオン蓄電システム	120,000 円×125 件
家庭用燃料電池システム	80,000 円×5 件
電気自動車充給電設備	100,000 円×2 件

### ⑦ 広島大学における脱炭素化の推進

市域内の先行事例として、広島大学の 2030 年カーボンニュートラルの実現に向け、Town & Gown Office と連携し、取組みを推進する。

事業の概要				
戦略	2	S-TOWNプロジェクトの推進	予算 6,731 千円	前年度 11,822 千円
事務事業	2-1	S-TOWNプロジェクトの推進	予算 6,731 千円	前年度 11,822 千円
内容				
2-1_S-TOWNプロジェクトの推進				
① S-TOWNプロジェクトチーム会議等の開催 (1,863 千円 (前年度 2,399 千円))				
企業・大学・市等が連携するためのプロジェクトチーム会議を開催し、実現可能な事業の企画・検討を行う。				
主な検討項目				
○環境配慮型の災害に強いコミュニティの構築				
・再生可能エネルギーの導入推進や災害時のレジリエンス強化を目指し、地域マイクログリッド等の構築について、大学、民間研究機関等とともに実証に向けた協議を進める。				
○環境教育プログラム (Web 版環境学習センター) の構築				
・市民の誰もが、いつでも自然環境や地球温暖化対策等を学び、環境に関する情報を入力できるよう、環境学習プログラム (Web 版環境学習センター) の構築を推進する。				
○市有施設での再生可能エネルギー発電の展開				
・再生可能エネルギーの導入促進を図るため、市有地等への発電設備の設置の検討のほか、遊休地や荒廃農地等の有効活用、既設太陽光の電力の面的融通等を推進できるよう、系統線を利用する PPAモデル等の活用を検討する。				
○食品残渣リサイクルループの構築				
・資源循環の促進に向け、食品残渣のたい肥化・資源化によるリサイクルループの構築を推進する。				
○市民主体の里山活用				
・持続可能な森林の管理・活用を進めていくことを目的に、木質バイオマス、教育やヘルスケア等での空間利用、マテリアル利用等を含む多様な利活用が図られるよう、山への関心、価値の向上、森林の整備を推進する。				
② 環境保全意識の醸成 (2,885 千円 (前年度 7,498 千円))				
ア SDGs×「COOL CHOICE」等のオンライン講演会による啓発 (うち 385 千円)				
イ 環境イベントの活動支援 (うち 2,000 千円)				
ウ 地球温暖化対策地域協議会の活動支援 (うち 500 千円)				
【活動指標】				
COOL CHOICE の賛同者数 : 600 件				
③ 次世代自動車の普及による脱炭素化の推進 (1,983 千円 (前年度 1,925 千円))				
ア 電気自動車 (公用車)・市有施設の EV 充電設備の管理				

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市
施策の将来の目標像	AIやビッグデータなど、最先端技術を活用し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」を目指す取組みが積極的に展開されています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開	主管部局・所属	総務部 DX推進監
関係部局・所属	総務部 政策推進監	総務部	広報戦略監

3 目指す姿と戦略

目指す姿	デジタル化を活用した社会	現状	デジタル化が進んでいない分野が多い	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市民の暮らし・仕事、地域社会、行政におけるDXが推進されていない	DXの推進による市民の利便性向上	高	1
	まるごと未来都市に向けた機運が醸成されていない	DXの推進に向けた体制整備	中	2
		未来都市形成に向けた体制整備	低	3
	SDGsの考え方が広まっていない	SDGsの推進	低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 市民ポータルサイトの登録者数	0 ( R2 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	20,000	33,000	35,000	35,000 ( R5 )	件
(4) 行政手続のオンライン化	59 ( R2 )		300	400	500	500 ( R5 )	件
(5)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度		123,230				
		78,797				
R 4 年度		186,505				
		182,001				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・8 DX推進事業	DX推進監	5.00	79,648	144,034
1-2	2・1・2 DXを活用した広報事業	広報戦略監	0.30	2,178	1,452
2-1	2・1・8 DX体制整備事業	DX推進監	0.40	25,037	25,703
3-1	2・1・7 未来都市形成事業	政策推進監	1.00	6,309	5,243
4-1	2・1・7 SDGs促進事業	政策推進監	2.00	10,058	10,073
合計			8.70	123,230	186,505

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市	① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開

事業の概要			
戦略	1 DXの推進による市民の利便性向上	予算 145,486 千円	前年度 132,046 千円
事務事業	1-1 DX推進事業	予算 144,034 千円	前年度 79,648 千円
内容			
1-1_D Xの推進			
① 共通基盤の整備（100,889 千円（前年度 40,979 千円））			
ア 市民ポータルサイトの運用（うち 99,899 千円）			
『いつでもどこでもスマート市役所の実現へ』			
市民ポータルサイトにより、ワンストップで様々なサービスを提供し、スマートフォンだけでも行政サービスが利用することができる市役所を目指す。			
欠席遅刻連絡などの学校向けのサービスに加えて、きめ細かい防災情報の発信や図書館利用カード機能のほか、子育て分野の業務で最適なタイミングでの情報配信サービス等を構築するとともに、他業務へのサービス拡大を図る。			
【新】イ DX関連イベント（うち 990 千円）			
デジタル化による不安解消を図るため、デジタルを通じて多世代が交流するイベントを開催する。			
② 地域と暮らしのDXの推進（24,745 千円（前年度 14,900 千円））			
ア 提案型課題解決事業の実施（うち 10,550 千円）			
今後、本市においても重要となる共助をはぐくむ地域のつながりの醸成について、ICT等によるサービス提案の募集、実証実験を実施する。			
課題解決採択テーマ：2,500 千円（1件当たり上限）/件×4件			
【新】イ DX共同実証事業の実施（うち 10,445 千円）			
デジタル技術の社会実装を目的に産官学共同で実証実験を実施する。			
(ア) 避難所スマート鍵ボックス共同実証実験（495 千円）			
(イ) 個別最適化された情報付与による行動変容の共同実証実験 (9,950 千円)			
ウ 教育評価システム実証実験（うち 3,250 千円）			
ブロックチェーンやAIを活用した非認知能力測定等の実証実験を実施する。			



事業の概要

③ 行政DXの推進（16,717千円（前年度 19,458千円））

オンライン申請の拡充による市民の手続の利便性向上や、RPA・AIを活用した行政の効率化を図る。

ア 電子申請（うち 461千円）

利用ニーズの高い子育て関連等の手続きを追加する。

R4目標：400 手続・8,000 件

イ RPA（Robotic Process Automation）（うち 7,600千円）

職員が行うパソコン操作をRPAで自動実行させることで、事務時間を削減する。

年度	令和2年度	令和3年度見込	令和4年度目標
実施処理件数	17 処理	18 処理	25 処理
時間削減効果	811 時間	849 時間	1,420 時間

ウ AI-OCR（うち 3,960千円）

AI（人工知能）技術を取り入れたOCRを活用し、紙文書をデジタルデータ化することで、システム入力等に要する事務時間を削減する。

年度	令和3年度見込	令和4年度目標
実施帳票数	27 帳票	35 帳票
時間削減効果	397 時間	1,946 時間

④ データ利活用による政策形成（1,683千円（前年度 4,312千円））

ア 情報通信利用状況調査（うち 1,333千円）

市民のスマートフォン等の情報通信利用状況のアンケート調査

事業の概要				
戦略	1	D Xの推進による市民の 利便性向上	予算 145,486 千円	前年度 132,046 千円
事務事業	1-2	D Xを活用した広報事業	予算 1,452 千円	前年度 2,178 千円
内容				
1-2_D Xを活用した広報				
① 最新技術を活用した広報（1,452 千円（前年度 2,178 千円））				
ア 積極的な市民への情報発信				
A I 技術を利用したイベント情報集約サイトを運用する。				

事業の概要				
戦略	2	D Xの推進に向けた体制整備	予算 25,703 千円	前年度 25,037 千円
事務事業	2-1	D X体制整備事業	予算 25,703 千円	前年度 25,037 千円
内容				
2-1_D Xの推進に向けた体制整備				
① D Xの体制整備に向けた専門人材の活用				
(25,703 千円（前年度 25,037 千円））				
ア D X専門人材の任用				
市民がデジタル化による利便性を実感できるよう、民間でデジタルサービスに関わった専門人材を任用して、市民や事業者を巻き込んだプロジェクトの社会実験・実装を推進する。				

事業の概要				
戦略	3	未来都市形成に向けた体制整備	予算 5,243 千円	前年度 6,309 千円
事務事業	3-1	未来都市形成事業	予算 5,243 千円	前年度 6,309 千円
内容				
3-1_未来都市形成に向けた体制整備				
【新】① 「生活価値創造のまち」の実現に向けた共創の仕組み構築				
(5,000 千円（前年度 0 千円））				
東広島市の暮らし方を豊かに変えていくため、令和3年12月に締結した協力・連携協定に基づき、マツダ及び博報堂と生活者発想で創り上げる住民参加型の研究・事業企画プラットフォーム（共創の仕組み）を構築する。				
ア 共創の仕組みづくりと構想の策定				
イ カーボンニュートラルを目指した取組み				

事業の概要				
戦略	4	SDGsの推進	予算 10,073 千円	前年度 10,058 千円
事務事業	4-1	SDGs促進事業	予算 10,073 千円	前年度 10,058 千円
内容				
4-1_SDGsの推進				
<p>① 市民の意識向上・行動変容の推進（6,724 千円（前年度 8,338 千円））</p> <p>SDGs 特設サイトの運用やコンテンツの充実を図ること等を通じて、市民・企業・団体・行政といったすべての活動主体の取組みを見える化し、分かりやすく伝えることで、市民へのSDGsの理念の浸透・自分ごと化を促し、行動変容につなげる。</p> <p>ア SDGs 特設サイトの運用（うち 4,361 千円）</p> <p>SDGsの理念のほか、市民・企業・団体・行政といった活動主体の取組みを見える化するための情報のプラットフォームとして特設サイトを運用する。</p> <p>【新】イ 地域・学生と取り組むSDGs活動の支援（うち 1,500 千円）</p> <p>SDGs 推進パートナーによる市内の地域・学生を巻き込んだSDGs 達成に向けた取組みを支援し、市民へのSDGsの理念の浸透・行動変容につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金 1,500 千円（上限 250 千円/件×6 件（地域 3 件、学生 3 件））</li> <li>・補助率 法人(NPO 法人・学校法人除く)：補助対象経費総額の 1/2 以内            その他団体：補助対象経費総額の 4/5 以内</li> </ul> <p>② 企業・団体による活動の促進（2,503 千円（前年度 573 千円））</p> <p>SDGs 推進パートナー制度の運用、パートナー同士のマッチング支援・セミナー（取組みの質の向上、連携の促進）、パートナーとの協力事業を実施する。</p> <p>ア SDGs 推進パートナー制度の運用（うち 462 千円）</p> <p>多様な分野の主体と連携し、SDGsの理念の普及と目標達成に向けた取組みを推進するため、SDGsに積極的に取り組んでいる企業や団体等をパートナーとして登録する制度を運用する。</p> <p>【拡】イ SDGs 推進パートナーの支援（うち 1,711 千円）</p> <p>セミナーや交流会等の開催により、パートナーによる取組みの質の向上やパートナー同士の連携した取組みを支援する。</p> <p>【新】ウ サンフレッチェ広島と連携したSDGsの推進（うち 330 千円）</p> <p>サンフレッチェ広島の人材を活用し、女性アスリートの活躍や青少年健全育成につながる取組みを行う。</p>				

